

令和5年度 事業報告

I 事業推進報告

第1 交通安全推進事業（公益目的事業1）

1 交通安全意識向上事業

（1）交通安全地域指導者セミナー

ア 「飲酒運転根絶」及び交通安全全般について、飲酒運転根絶研修会の中で最新情報の共有と交通安全活動への意識の向上並びに啓発活動における参考情報の提供を行いました。

イ 北海道ブロック「令和5年度交通ボランティア等講習会」（内閣府主催）について、交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、各地区交通安全推進員等が現地及びオンラインで講習会に参加し指導技法を習得しました。

（2）交通安全研修会等への講師の派遣

企業・団体等が開催する交通安全研修会等に講師として職員を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。

・ 5回派遣

6月23日（旭川市） 10月20日（石狩市） 11月10日（北広島市）

2月27日（帯広市） 3月4日（札幌市）

（3）飲酒運転根絶研修

飲酒運転根絶の活動に必要な知識等に精通した人材を育成するため、市町村職員、交通安全推進員、交通安全指導員等を対象に全道14ヶ所（（総合）振興局管内）において研修会を開催し、飲酒運転根絶への意識の向上並びに啓発活動における参考情報の提供を行いました。

地区	開催月日	参加者数	主な開催内容
空知	3月8日	63	岩見沢保健所及び東海電子(株)の講演
石狩	3月4日	18	当委員会職員の講演、DVDの上映、北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト入賞作品の上映
後志	3月14日	34	MS&ADインターリスク総研の講演
胆振	2月22日	29	道警察札幌方面室蘭警察署、JAF札幌支部の講演
日高	12月5日	37	北海道交通事故被害者の会、保健師の講演、DVDの上映
渡島	1月30日	14	飲酒運転による事故状況の説明、飲酒運転防止研修会用DVDの上映（オンライン開催）
檜山	12月8日	19	DVDの上映、飲酒状態体験ゴーグル体験会、飲酒運転根絶飲食店等登録制度の説明
上川	2月29日	51	道警察旭川方面本部の講演、DVDの上映
留萌	11月29日	68	道警察旭川方面留萌警察署の講演、DVDの上映
宗谷	12月1日	40	道警察旭川方面稚内警察署、日本損害保険協会北海道支部の講演
オホーツク	11月14日	65	北海道交通事故被害者の会の講演、飲酒運転根絶宣言飲食店等登録制度の説明
十勝	2月27日	32	当委員会職員の講演、DVDの上映、北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト入賞作品の上映
釧路	11月22日	51	道警察釧路方面本部、愛国自動車学校の講演
根室	2月19日	23	道警察釧路方面根室警察署の講演、DVDの上映
計		545	

2 調査・研究事業

（1）交通安全推進員の設置等

ア 交通安全推進員の設置

総合振興局・振興局内に設置されている地区交通安全推進協議会事務局に交通安全推進員14名を委嘱配置し、地域において効果的な交通安全運動を推進するほか、地域の実情に応じた交

通安全に関する調査を実施し、地域住民に提供しました。

イ 交通安全推進員の研修

交通安全推進員14名を対象に研修会を開催し、事業概要、交通安全運動の取り組み方や活動事例について研修しました。

・4月18日 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）

(2) デイ・ライトの点灯率・夜光反射材の調査

ア 各地区交通安全推進員によりデイ・ライトの点灯率を年1回（春）調査し、調査結果を関係機関・団体に提供しました。

イ 各地区交通安全推進協議会や関係機関等と協力しながら、夜光反射材の意識調査を実施し、調査結果を関係機関・団体に提供しました。

・9月8日 北海道青少年育成大会（主催 公益財団法人北海道青少年育成協会）

3 広報事業

(1) 交通安全総決起大会等の開催

ア 秋の全国交通安全運動「2023交通安全道民総決起大会」の開催

秋の全国交通安全運動行事の一環として「2023交通安全道民総決起大会」（交通安全対策七者連絡会議主催）を開催し、ゲストにタレントの木村愛里さんと飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」を招き、交通安全を呼びかけました。

・9月21日 札幌市（道庁赤れんが庁舎前庭） 100名参加

イ 期別運動

春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、交通安全運動の重点を中心に決起大会、初日行事や街頭啓発等を実施し、交通安全を呼びかけました。

運動の種類	運動期間	主要行事
春の全国交通安全運動	5月11日～20日	道民の集い（5月11日）ゲスト：原田雅彦さん
夏の交通安全運動	7月13日～22日	飲酒運転根絶の日決起大会（7月13日）
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	交通安全道民総決起大会（9月21日） ゲスト：木村愛里さん
冬の交通安全運動	11月13日～22日	セーフティコール（11月13日）ゲスト：東李苑さん

ウ 新入学（園）期の交通安全期間

4月6日から14日までの9日間は、新入学（園）の交通事故を防止するため、啓発活動等に関係機関・団体等と連携しながら実施し、交通安全意識の高揚を呼びかけました。

エ 飲酒運転根絶の日

7月13日の「飲酒運転根絶の日」には、北海道飲酒運転の根絶に関する条例に基づき、道民の飲酒運転根絶の気運を高めるための啓発活動や広報活動を関係機関・団体と連携しながら、実施しました。

オ 交通事故死ゼロを目指す日

道民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体等と連携し「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発を実施し、安全意識の高揚を図りました。

・5月20日、9月30日

カ 道民交通安全の日

毎月15日の「道民交通安全の日」には、関係機関・団体と連携し街頭啓発を実施のほか、交通安全旗の掲出や啓発資材を配布して、道民交通安全の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

キ 自転車安全の日

毎月第1、第3金曜日の「自転車安全日」には、関係機関・団体等と連携し、歩行者保護、交差点の安全通行、ヘルメット着用等、マナーの向上と自転車の安全利用を呼びかけました。

ク その他交通安全の日

① 無事故の日

6月25日の「無事故の日」には、全道各地の交通安全母の会を中心として、関係機関・団体等と連携しながら街頭啓発等を実施し、無事故の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

② バイクの日

8月19日の「バイクの日」に合わせて、市町村が主体となり、二輪車の来訪が多い観光

地等で安全意識の高揚と事故防止を呼びかけました。

③ サイクルセーフティキャンペーン

4月から10月まで、交通安全対策七者連絡会議主催で展開するサイクルセーフティキャンペーンにおいて、期間中、自転車ヘルメット着用等の街頭啓発活動を実施しました。

④ 飲酒運転根絶対策期間（12月）

道や道警察、関係団体等で構成する「北海道飲酒運転根絶推進協議会」では12月を対策期間と位置付け、4日には、飲酒運転根絶「飲酒運転はチョコっとも許さない！飲酒運転ゼロ大作戦！」（交通安全対策七者連絡会議、道警察札幌方面西警察署主催）をイトーヨーカドー琴似店で開催し、啓発活動を実施しました。

（2）広報啓発事業

ア 企業等と連携した広報活動の実施

① 「みんなでつくる交通安全の輪～企業・団体の取組事例～」のとりまとめ

交通事故死ゼロの早期実現に向け、正会員・賛助会員のほか、企業・団体など様々な業界がそれぞれの強みを生かした取組を広げていただけるよう、意見交換を行い、事例集としてとりまとめ、順次ホームページ等で紹介しました。

○令和5年度の掲載企業・団体（7社）

- ・（公社）北海道トラック協会、ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）、アンビシャスグループ北海道（株）、北海道自家用自動車協会連合会、全国共済農業協同組合連合会北海道本部
- ・対談：会長×（公財）交通遺児育英会 石橋会長（7月13日北海道新聞に掲載）
- ・対談：会長×（一社）日本自動車販売協会連合会北海道ブロック協議会 沖田会長（9月11日）

② 新聞紙面等を活用した広報活動

○北海道日刊スポーツ新聞社（年間12回）

○北海道自家用自動車連合会発行「北海道自家用新聞」（毎月発行）における交通安全の取組紹介

③ その他企業との連携

ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）と当委員会がタイアップし「守ってね。交通ルール」と袖にメッセージを入れたファイターズTシャツとコンサドーレTシャツを制作し、全道179市町村の小学1年生合計35,000人に配布していただきました。

イ 機関誌の発行

当委員会における交通安全活動状況や、関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域の問題を掲載した機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

- ・8月、1月発行 各11,000部

ウ ホームページ、SNS等による発信

当委員会のホームページ、SNS（Facebook、X）、YouTubeチャンネルにより、交通安全情報や取組等について広く発信しました。

（3）飲酒運転根絶の日決起大会の開催

ア 決起大会の開催

① 7月13日の「飲酒運転根絶の日」を広く道民に周知するとともに、道民一人ひとりに飲酒運転の根絶に向けて、「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という規範意識の醸成を図るため、全道（総合）振興局管内において「飲酒運転根絶の日決起大会」を開催しました。

② 札幌市での大会（交通安全対策七者連絡会議主催）を次のとおり開催しました。

○日時、場所等

7月13日 共済ホール 300名参加

○開催内容

- ・令和4年飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール入賞作品の紹介
- ・基調講演「悲劇をなくすために」
北海道交通事故被害者の会 高石洋子 様
- ・令和4年度北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト入賞作品の上映

- ・飲酒運転根絶啓発演劇「心の放課後」、飲酒運転根絶メッセージと道民宣言
北海道札幌西高等学校演劇部の皆さん

イ ポスターチラシの作成等

「飲酒運転根絶の日」を周知するとともに、一年を通して飲酒運転根絶事業の普及啓発をするため、本年度も飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」を活用し、チラシやポスター等を作成、各市町村・団体等に配布しました。

- ・チラシ 75,000枚
- ・ポスター 15,000枚

ウ ロゴマークの活用促進

飲酒運転根絶用ロゴマークを通年運動や期別運動で作成するポスター、チラシなどの啓発資材等に掲載するなどして、効果的な活用を推進するとともに、道内の関係団体や企業等の積極的な活用を促進しました。

(4) 地域連携型飲酒運転根絶事業

ア 飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール

道内の高校生から飲酒運転根絶メッセージ(100文字程度)を募集し、そのメッセージを活用して啓発活動を実施することで、飲酒運転を見逃さないという社会全体の意識の高揚を図りました。

- ・募集期間 7月1日～10月31日
- ・応募作品 1,037作品
- ・表彰等
最優秀賞(北海道知事賞)
優 秀 賞(北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞)
優 良 賞(公益社団法人北海道交通安全推進委員会会長賞、一般財団法人北海道交通安全協会会長賞、一般社団法人北海道安全運転管理者協会会長賞)
飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞
- ・後援
北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会
- ・協力
HBC、STVラジオ、エフエム北海道、日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会(地域FM)
- ・ラジオ放送時期 12月～1月
- ・ラジオ放送回数 265回(全道ラジオ局3局、地域FM局22局)

イ 北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト

道内の専門学校生、短大生・大学生及び大学院生から、「北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト」の作品(30秒以内)を募集し、入賞作品を啓発に活用しました。

- ・募集期間 7月1日～11月30日
- ・応募作品 11作品
- ・表彰等
最優秀賞、優秀賞、佳作及び飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞 各1作品
- ・後援
北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会

ウ 飲酒運転根絶宣言飲食店等の登録制度

飲酒運転根絶に関する取組を宣言する飲食店及び酒類販売店等を登録しました。

- ・既に対象となっている地域
旭川市、函館市、帯広市、石狩、後志、胆振、渡島、上川、留萌、十勝、釧路及び根室管内
- ・令和5年度に拡大した地域
空知、檜山、宗谷及びオホーツク管内
- ・登録数 672店舗(令和6年3月末現在)

エ 飲酒運転根絶宣言事業者の登録制度

道と連携し、「飲酒運転の根絶に取り組む宣言」を行った事業者を登録しました。

・登録数 2, 156社 (令和6年3月末現在)

4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

ア 交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名 (日数)	市町村計
4月	利尻町(5,000)上士幌町(3,500)八雲町(2,000)奥尻町(1,000)美深町(1,000) 洞爺湖町(700)日高町(700)当麻町(700)池田町(700)倶知安町(500)伊達市(500) 興部町(500)芽室町(500)苫小牧市(300)小樽市(200)帯広市(200)	4市12町 (16市町)
5月	鹿追町(1,000)喜茂別町(700)七飯町(700)士別市(700)幌加内町(700)清水町(700) 滝川市(500)深川市(500)南幌町(500)せたな町(500)愛別町(500)遠軽町(500) 釧路市(200)	4市9町 (13市町)
6月	歌志内市(4,500)真狩村(4,500)沼田町(4,000)東神楽町(2,500)浦幌町(1,500) 浜中町(1,500)和寒町(1,000)仁木町(700)占冠村(700)苫前町(700)湧別町(700) 広尾町(700)夕張市(500)新十津川町(500)恵庭市(500)	3市10町2村 (15市町村)
7月	初山別村(3,000)佐呂間町(2,000)積丹町(1,500)赤平市(1,000)足寄町(1,000) 小平町(700)枝幸町(700)豊浦町(500)小樽市(300)函館市(300)稚内市(300) 網走市(300)帯広市(300)	6市6町1村 (13市町村)
8月	下川町(3,000)厚真町(2,000)比布町(2,000)秩父別町(1,500)天塩町(1,500) 森町(1,000)幕別町(700)松前町(500)津別町(500)	9町 (9町)
9月	月形町(3,000)むかわ町(2,500)妹背牛町(2,000)根室市(1,000)乙部町(700) 北竜町(500)釧路町(500)三笠市(300)	2市6町 (8市町)
10月	西興部村(10,500)島牧村(7,000)神恵内村(5,500)浦臼町(5,000)清里町(2,500) 遠別町(2,000)美瑛市(1,000)当別町(1,000)鹿部町(1,000)厚沢部町(1,000) 砂川市(700)倶知安町(700)白老町(700)浦河町(700)木古内町(700)江差町(700) 今金町(700)増毛町(500)北広島市(300)	3市13町3村 (19市町村)
11月	上ノ国町(5,500)寿都町(4,000)福島町(2,000)中川町(1,500)岩内町(1,000) 新冠町(1,000)深川市(700)南幌町(700)せたな町(700)共和町(500) 赤井川村(500)長万部町(500)士幌町(500)千歳市(300)	2市11町1村 (14市町村)
12月	泊村(5,500)知内町(4,000)東川町(3,500)更別村(2,000) 新ひだか町(1,500)新得町(1,500)訓子府町(1,000)愛別町(700)由仁町(500) 音更町(500)標津町(500)	9町2村 (11市町)
1月	小清水町(3,500)ニセコ町(3,000)滝上町(3,000)利尻富士町(2,500) 置戸町(2,500)剣淵町(2,000)中頓別町(2,000)洞爺湖町(1,000)紋別市(1,000) 夕張市(700)新十津川町(700)豊浦町(700)雨竜町(500)新篠津村(500)壮瞥町(500) 南富良野町(500)稚内市(500)本別町(500)白糠町(500)	3市15町1村 (19市町村)
2月	鶴居村(3,000)豊富町(2,000)豊頃町(2,000)日高町(1,000)当麻町(1,000) 松前町(700)黒松内町(500)幌延町(500)網走市(500)帯広市(500) 旭川市(200)	3市7町1村 (11市町村)
3月	礼文町(5,000)上川町(2,500)七飯町(1,000)幌加内町(1,000)清水町(1,000) 三笠市(500)余市町(500)平取町(500)大空町(500)	1市8町 (9市町)
4月から3月まで延べ 31市 115町 11村 (計157市町村) を表彰		

イ 顕彰の基準日数等について見直しを行い「公益社団法人北海道交通安全推進委員会表彰規程」及び「表彰要領」を改正しました。(令和6年4月1日施行)

(2) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員138名を表彰しました。

(3) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した交通安全母の会会員66名を表彰しました。

(4) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした3団体を表彰しました。

(5) 業務貢献表彰

- ア 5月24日、空知建設産業安全大会に出席し、一般社団法人空知建設業協会より150,000円（交通遺児育英事業と合わせると300,000円）を受納し、感謝状を贈呈しました。
- イ 6月30日、全国共済農業協同組合連合会北海道本部より700,000円、11月21日に705,000円の計1,405,000円を受納し、12月12日に感謝状を贈呈しました。
- ウ 9月27日、第44回建設産業交通安全推進全道大会に出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円（交通遺児育英事業と合わせると1,000,000円）を受納し、感謝状を贈呈しました。
- エ 11月20日、全日本空輸株式会社（ANAオープンゴルフトーナメント大会）より450,000円（交通遺児育英事業と合わせると500,000円）を受納し、感謝状を贈呈しました。
- オ 11月22日、北海道自家用自動車協会連合会より啓発資材「即席ラーメン」1,400個が寄贈され、感謝状を贈呈しました。
- カ 1月21日、小林豊子きもの学院新年交礼会に出席し、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円（交通遺児育英事業と合わせると300,000円）を受納し、感謝状を贈呈しました。
- キ その他、八剣山パークゴルフ場などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

5 交通安全啓発支援事業

(1) 交通安全運動等啓発事業

ア 交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成し、市町村や関係機関、団体等に配布しました。

- ・ポケットティッシュ 90,000個
- ・啓発用手袋 500個

イ 各期の交通安全運動の重点等を周知するため、交通安全運動ポスター・チラシ等を作成し、各市町村や関係機関・団体等に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各 9,200枚
チラシ	春、秋の全国交通安全運動用	春 28,000枚、秋 30,000枚
	夏、冬の交通安全運動用	夏 51,000枚、冬 51,000枚

(※春と秋のポスターは、全国運動により内閣府で作成)

ウ 交通安全に関する視聴覚教材（ビデオ・DVD）を購入し、各市町村や各団体等に貸出し、安全意識の高揚を図るほか、各種大会や交通安全パネル展等で使用する交通安全パネル等を各市町村や団体等に貸出しました。

- ・DVD貸出件数 197件 視聴者（延べ数）13,199名

エ 市町村等の広報活動支援のため、引き続き広報啓発用音声データをホームページに公開し、提供しました。

(2) 自転車の交通事故防止事業

ア 自転車利用時の安全運転意識の向上や、マナーアップを図るため、新中学生及び新高校生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめ、その保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成・配布しました。

- ・リーフレット（中学生用） 30,000枚【新1年生】
- ・リーフレット（高校生用） 34,500枚【新1年生】

イ 交通事故発生時の被害軽減に効果的な自転車ヘルメットの着用を定着させるために、北海道警察が他校の模範となる自転車ヘルメットモデル小学校を指定し、ヘルメットを配布し安全啓発をする事業に、関係団体と連携しながら協賛しました。

- ・モデル校 札幌市内の米里、元町、資生館及び藤野小学校
- ・主 催 北海道警察
- ・協 賛

一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道指定自動車教習所協会、公益社団法人北海道トラック協会、一般社団法人北海道ハイヤー協会、一般社団法人北海道運転安全管理者協会、公益社団法人北海道交通安全推進委員会

(3) 幼児の事故防止事業

ア 幼稚園、保育所、認定こども園等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所、認定こども園等に配布しました。

・活動の手引き 2, 200部

イ ホームページ等で幼児向け「交通安全ぬりえ」や「交通安全パトカークラフト」を提供（ダウンロード可）しているほか、（一社）札幌地区自家用自動車協会との連携により、小樽市内幼稚園6園に「交通安全ぬりえ」等を贈呈しました。

6 交通事故防止支援事業

高齢者の交通事故防止事業

- (1) 地区交通安全推進協議会や市町村等と連携して、高齢者に対し夜光反射材の有用性と効果を体験・認識することにより、反射材の普及促進と事故防止を図りました。
- (2) 高齢者とこども、その親などが世代を越えて一緒に参加し、交通安全について学び、考える「世代間交通安全交流事業」として「キラッと安全キャンペーン」を実施しました。
 - ・ 11月17日（倶知安町）
 - ・ 協 力：道警察札幌方面倶知安警察署、認定こども園倶知安藤幼稚園
 - ・ 内 容：園児が高齢者の靴に反射材を貼付したほか、高齢者から園児にキャラクター反射材をプレゼントしました。
- (3) 市町村交通安全推進委員会等が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故防止を図りました。

○助成先一覧

（単位：円）

助成先	事業内容	助成額
芦 別 市	安全教室等の開催と夜光反射材の配布	35,965
滝 川 市	夜光反射材の配布	16,000
砂 川 市	単身高齢者宅訪問での夜光反射材配布	10,000
札 幌 市	夜光反射材やチラシの作成・配布	100,000
江 別 市	交通安全イベント等での夜光反射材の配布	10,500
北 広 島 市	老人クラブ交通安全教室等の実施と夜光反射材の配布	27,000
小 樽 市	交通安全講話の実施と夜光反射材の配布	36,000
共 和 町	夜光反射材や交通安全パンフレットの配布	47,800
倶 知 安 町	夜光反射材の配布	13,700
函 館 市	夜光反射材の配布	59,300
旭 川 市	交通安全講話の実施と夜光反射材の配布	27,500
士 別 市	老人クラブ教室での夜光反射材の配布	10,400
中富良野町	交通安全イベントでの夜光反射材チラシの配布	18,000
紋 別 市	高齢者への交通安全啓発グッズの配布	10,000
美 幌 町	交通安全大会の開催と夜光反射材の配布	28,800
佐 呂 間 町	夜光反射材やチラシの作成・配布	17,700
新 得 町	交通安全講習会の実施と夜光反射材の配布	34,900
幕 別 町	夜光反射材の配布	10,000
鶴 居 村	交通安全イベントでの夜光反射材の配布	16,000
標 茶 町	夜光反射材の配布	39,100
標 津 町	イベントでの夜光反射材の配布	10,000
合計11市9町1村		578,665

第2 交通遺児育英事業（公益目的事業2）

1 奨学金の貸付

- (1) 中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生（高等課程・専門課程）を対象に、貸付を行っております。令和6年3月末日現在の奨学生は40名（猶予中4名及び返還中36名）です。

なお、制度創設の昭和51年度から総計381件、貸付総額は219,855,000円となっております。

- (2) 奨学金返還未納者調査 返還未納者を確認するため、電話及び手紙による催促を行いました。

2 見舞金・給付金支給事業

交通遺児となった日から1年以内の18歳未満の者に対して見舞金を、又、幼少期から中学生(中等教育学生含む)までの交通遺児に対して給付金を、それぞれ申請により支給しました。

- ・見舞金 5名 計 600,000円
- ・給付金 41名 計4,180,000円

3 資金造成事業

黄色い羽根募金活動のための羽根等を、実施市町村へ配付しました。

4 奨学生(奨学金・給付金等)募集事業

広く道民へ貸付・給付等の募集を図るため、ホームページを活用した情報発信及びチラシ等を作成し、市町村を始めとして、関係機関・団体等に周知しました。

5 広報啓発活動事業

機関誌「フレンドリー通信」を3月に2,000部発行しました。

6 称賛事業

(1) 寄付者への感謝状の贈呈

ア 5月24日、空知建設産業安全大会に出席し、一般社団法人空知建設業協会より150,000円(交通安全推進事業と合わせると300,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

イ 9月27日、第44回建設産業交通安全推進全道大会に出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円(交通安全推進事業と合わせると1,000,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

ウ 11月20日、全日本空輸株式会社(ANAオープンゴルフトーナメント大会)より50,000円(交通安全推進事業と合わせると500,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

エ 1月21日、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円(交通安全推進事業と合わせると300,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

オ その他、ライダーズミーティング寿都実行委員会などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

(2) 寄付者の朝日新聞への掲載

掲載日 6月30日

7 特例奨学金制度に基づく給付状況

貸付金返還中のうち1名が、令和5年度中に貸付額の70%の返還に達し、当委員会から残りの30%に相当する額を給付し、返還を完了しました。

- ・給付額合計 516,000円

8 寄付金の受納

交通遺児育英事業のために、寄付金を受納いたしました。

- ・寄付金合計額 2,877,863円

(単位:円)

団体等	金額	件数
1 寄付(寄付)	677,750	12件
2 寄付(募金)	1,478,385	14件
3 羽根募金	340,498	10件
4 箱募金	381,230	80件
合計	2,877,863	116件

第3 交通安全推進団体交付金事業(その他事業)

1 地区活動の充実・支援

- (1) 地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る啓発資材作成等の支援を行い、その充実を図りました。
- (2) 地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を展開するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。

地 区	事業名
空 知	新入学期における交通事故防止啓発事業
石 狩	高齢歩行者・高齢運転者の事故防止啓発活動
後 志	春の行楽期及び秋の輸送繁忙期の交通安全運動
胆 振	春の行楽期及び輸送繁忙期街頭啓発における交通安全用チラシ作成・配布事業
日 高	飲酒運転根絶対策事業
渡 島	冬の交通安全運動パネル展
檜 山	新入学児童に対する啓発活動
上 川	交通安全啓発事業（高齢者交通安全講習事業、新入学児童交通安全啓発事業）
留 萌	オロロンライン交通安全特別啓発事業
宗 谷	夜光反射材普及促進事業
オホーツク	こどもと高齢者の事故防止事業
十 勝	交通事故死ストップ十勝百日作戦
釧 路	夏の行楽期の交通安全キャンペーン及びバイクの日啓発事業
根 室	7大キャンペーンの展開と交通安全教育の普及

2 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を行うほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するために必要経費の一部助成を行いました。

- (1) 「無事故の日」の啓発
- (2) 北海道交通安全母の会会長表彰の実施
長期にわたり交通安全運動の推進に尽力し、その功績が顕著な交通安全母の会の会員11名を表彰しました。
- (3) 北海道交通安全母の会研修会の開催
10月26日 札幌市（札幌駅前ビジネススペース） 13名出席
- (4) 交通安全啓発活動の支援
交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して活動の支援を行いました。

第4 管理事業（法人会計）

1 社員総会の開催

- (1) 日時 令和5年6月5日 14時00分～15時05分
- (2) 場所 札幌市（ホテルポールスター札幌）
- (3) 会員総数 258会員
出席会員 225会員（うち委任状183会員）
- (4) 議題
報告事項
第1号報告 令和5年度事業計画書及び収支予算書の件
決議事項
第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告承認の件
第2号議案 役員の補充選任の件

2 理事会の開催

【第1回】

- (1) 日時 令和5年5月19日（書面開催）
- (2) 議題

報告事項

第1号報告 令和4年度特定資産運用結果の件

決議事項

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告承認の件

第2号議案 役員の補充選任の件

(3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき、理事の全員が書面により同意

【臨時理事会】

(1) 日時 令和5年6月5日 13時50分～13時52分

(2) 場所 札幌市（ホテルポールスター札幌）

(3) 出席者

理事総数 29名

出席理事 20名

出席監事 1名

(4) 議題

決議事項

第1号議案 役員の補充選任の件

【第2回】

(1) 日時 令和5年6月5日 15時10分～15時40分

(2) 場所 札幌市（ホテルポールスター札幌）

(3) 出席者

理事総数 30名

出席理事 21名

出席監事 1名

(4) 議題

決議事項

第1号議案 副会長の選任の件

報告事項

第1号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

第2号報告 令和5年度交通遺児奨学部会委員選任の件

第3号報告 令和5年度交通遺児奨学部会決議事項の件

その他

【第3回】

(1) 日時 令和6年2月26日 13時25分～14時50分

(2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）

(3) 出席者

理事総数 30名

出席理事 21名

出席監事 1名

(4) 議題

報告事項

第1号報告 令和6年度特定資産運用計画の件

第2号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

決議事項

第1号議案 令和6年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の件

第2号議案 市町村交通事故死ゼロ顕彰の見直しの件

第3号議案 諸規程の改正の件

第4号議案 令和6年度給付金等募集定員及び選考基準の件

第5号議案 令和6年度役員改選の件

第6号議案 令和6年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件

その他

3 幹部理事会の開催

- (1) 日時 令和5年11月7日 13時30分～14時55分
- (2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）
- (3) 出席者
 - 構成員数 6名
 - 出席理事 6名（会長、筆頭副会長、副会長4名）
 - 出席監事 2名
- (4) 議題
 - 報告事項
 - 第1号報告 令和5年度事業経過報告の件
 - 第2号報告 令和6年度予算要求（北海道補助金）に伴う要望等の件
 - 協議事項
 - 協議事項1 顕彰制度（市町村ゼロ表彰）の見直しの件
 - 協議事項2 令和6年度役員改選（方針案）の件
 - 協議事項3 今後の日程（予定）について
 - その他

4 交通遺児奨学部会の開催

- (1) 日時 令和5年5月23日 13時20分～14時40分
- (2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）
- (3) 議題
 - 報告事項
 - 第1号報告 令和4年度交通遺児奨学生の貸付・返還状況の件
 - 議決事項
 - 第1号議案 令和5年度交通遺児奨学生の採用の件
 - 第2号議案 令和5年度交通遺児奨学金返還免除の件
 - 第3号議案 令和5年度交通遺児給付金の支給決定の件
 - その他